

令和元年度まちづくり座談会における質問・要望事項と回答

■十王地区：10月21日（月）午後7時30分～9時

参加者数31名

①有害鳥獣対策について

町：はじめに、イノシシ被害ですが、県内全体において近年被害が拡大しています。町内でも今年すでに11頭が捕獲されました。現在も町内各所に罠（くくり罠、箱罠）を設置しておりまして、今年の4月に区長・副区長・町内長の皆様をお願いをしたところですが、目撃、被害の情報をお寄せいただきたいと思います。お寄せいただいた情報を元に地図に起しまして、少しずつ分布もわかってきたところです。

続きましてクマについてですが、今年は捕獲許可として16件出しまして捕獲としては4頭ございました。新聞にも載りましたが、鮎貝小学校に出没したり、デントコーンも大きな被害を受けました。鮎貝で捕まったクマは全長170センチととても大きいクマでした。

最後に町の鳥獣対策の支援制度についてですが、まず電気柵の設置支援を行っております。大きく2つに分けられる事業になりますが、ひとつは県からも補助が入るモデル事業と町単独で行っているとなります。今年度の対象者ですが、販売農家となっております。また、狩猟免許取得支援ということで、罠にかかった鳥獣を最後に処分するために銃が必要となるわけですが、それに対応できる人を増やす目的として、免許取得のサポートとして行っております。ぜひご活用いただければと思います。

《質疑応答》

Q. イノシシ被害について、被害状況をみると川東ばかりに集中しているが、川西側にはいないのでしょうか。また、畑等に足跡が見つかったといったことでも報告は必要なのでしょうか。

もうひとつですが、カモシカに野菜等を食べられる被害が起きています。天然記念物のため何も手が打てない状況ですが、何か対処する方法はありますか。

A. 町内で最初にイノシシが捕獲されたのが鮎貝の高岡地区になります。なので、間違いなくいるはずですが、ただ、情報が寄せられていないので地図に記されていないということです。また、どんな小さな状況でもお寄せいただければと思います。

続いてカモシカについてですが、やはり天然記念物なので何もできないのが実情です。出荷前の枝豆をほとんど食べられてしまったこともあり、農家さんからの相談も受けているところです。過去に山形市が個体数調整ということで駆除を行ったことがあります。ただ、それを行うには、まず、個体数の把握ということでかなり細かく調査をする必要があるようです。さらには農作物の被害額も積み重ねて調査し、それを国に報告しやっとな駆除の至ったということでかなりハードルは高いようです。駆除は全くできないというわけではないようですが、町でも被害等のデータを蓄積していないので対応は

難しい状況でございます。

Q. イノシシ被害について、被害が出る前に防ぐ方法はないのでしょうか。また、町内ではあまり被害はないようですが、他の市町村では被害もでている猿について、町内ではどういった状況ですか。

A. イノシシは非常に警戒心の強い動物ですので、山と人里の境を明確にする必要があります。そのためには、草刈りを定期的に行うなど、住処となりそうな場所を作らないような環境作りが必要となります。また、餌となってしまうような生ゴミ等の管理も注意が必要だと思います。

猿についてですが、町内においては、1、2匹といったはぐれ猿と思われる猿の目撃はありましたが、軍団での目撃はまだありません。

Q. 電気柵以外に補助の対象になる機具（ホームセインター等に売っているような簡易な対策用具）はないのでしょうか

A. 電気柵のみの補助となっています。

②第6次総合計画について

町：計画については昨年のまちづくり座談会のほうでも説明させていただきました。そして、まちづくり町民会議ようも踏まえまして昨年度中に基本構想を策定しました。現在は基本計画の素案策定の最終段階に取り組んでいるところです。

総合計画は基本構想と基本計画の2つで構成されています。基本構想についてはまちづくりのあり方、将来像といった理念を示すものになります。基本計画はその構想を実現するための基本的な施策の体系や方向性を示すものになります。基本計画は5年ごとに見直しが行われ、基本構想は来年（令和2年）から10年間、基本計画については前期が来年（令和2年）から5年、その後、後期としてさらに5年間行われます。

町を取り巻く経済の状況として、1番はやはり急激にすすむ人口減少、少子高齢化です。これについては全国的な問題となっています。このままいくと、2040年の町内の人口は約8800人という数値がでています。人口減少はやむを得ない状況ですが、これを何とか対策を練り、減少のスピードを緩やかにし、人口を10500人に留めたいいうことを基本的な目標としています。そのほかにグローバル化の進展、安全安心なまちづくり、地球環境保全のための環境づくり、ICTの活用、ライフスタイルの多様性、地域づくりの強化にも取り組んでいきたいと思っております。公共交通の弱さについても地方での問題となっています。

まちづくりの理念ですが、基本的には第5次総合計画の理念を引き継ぐ形となります。「共創のまちづくり」をテーマとして進めていきます。人と人、地域と地域がつながりを持つことが重要だと考えております。物理的なつながりだけでなく、様々なつながりを持てるまちづくりにしていきたいと思っております。

《質疑応答》

Q. 町外に目を向けるとジェンダーというものが大きな問題となっています。白鷹に住んでいて非常に良いと思っていたものがあって、古い公民館に掲げていた男女共同参画の宣言がないのですが新しい庁舎ではどこに掲げているのか知りたいです。

また、環境問題について最近、町民に対してのPRが薄らいでいるように思います。もう少し力を入れていただきたいと思います。

A. 計画の中には、ジェンダーという言葉はできませんが、いわゆる「ユニバーサル社会」という視点を含んでいます。年齢や性別、障がい、文化に左右されず誰もが地域社会の中でお互いに支えあって力を発揮できる社会を目指そうという項目を設けています。内容を確認していただき、何か不足するようなどころがあれば、ご意見をお寄せいただければと思います。

男女共同参画社会の宣言につきましては、当時のパネルがどこで保管されているか定かではないので確認いたします。掲示についても早急に対応したいと思います。

環境対策については、脱炭素社会を目指していかなければならないと思います。先般、環境フェアを実施いたしました。白鷹町美しい郷推進協議会の方からご協力をいただき、たくさんの方からご参加をいただきました。これからの環境対策におかれては、楽しんで取り組むことが大切だと思います。難しい問題だからと敬遠してしまうと取りかかりにくいと思いますので、できることから楽しく取り組めたらと考えております。ごみの排出量については、一人当たりの総量は減ってきているものの、ごみを捨てに行けなくなるご高齢の方も増えてくると考えられますので、こういった対応をしていくのか検討していきたいと思います。

Q. 荒砥駅に太陽光パネルを設置し発電していると思いますが、今どうなっているか見えない状況です。少しでも関心を持ってもらうために見えるようにしていただきたい。また、自然エネルギーをどのくらい利用しているのか知りたいです。

A. 町では木質を活用したエネルギー活用を進めております。もちろん木を燃やせば二酸化炭素が発生するわけですが、それを吸収する木を植えることによって問題は解決できるものと考えております。荒砥駅の太陽光パネルについてはどのように周知していくかは検討してまいりたいと思いますが、複合施設については、木質を活用したエネルギーを活用していきたいと思います。二酸化炭素の削減には、トータル的に考えて取り組んでいきます。

③自由意見

Q. 山狭グラウンドについて、イベントをするごとに石を取り除くのですが、少し経つとまた石が散らばっています。また、水はけが悪く大変苦勞しています。グラウンドの整備をお願いしたいとともに、公衆トイレを設置していただきたいです。

A. グラウンドの改修につきましては、地区からの要望で上がってきております。認識が間違っていれば教えていただきたいのですが、当初、山狭紅の里を整備する際にグラウ

ンドの整備については話が上がってこなかったと聞いております。あとで追加要望という形であがってきたことから、整備構想には位置づけられなかったという経過があります。そういった状況から、新たにグラウンドの整備となるのは難しい状況にあります。具体的な方向性が定まっていないようですのでお時間はいただく問題になると思えます。

地区：山狭紅の里の整備の際に、事業費の枠が決まっており建物とグラウンドの話と一緒に進めると目減りすると言われましたので地区としてグラウンドの話まではできないと考え、その時はあきらめた経緯があります。あれだけの素晴らしい建物を建てていただいたので言いづらいですが、そういった経緯があったことをご承知いただきたいです。

Q. 六差路について、以前から要望をしている。地元でも話をまとめて町にあげているわけなので、何らかの進展があってほしいです。

町（町長）：六差路の問題について、大事なのは「ここからこう変わりますよ」ということであり、それが具体的に示されておられません。そして、学校新道をどうするかということも重要です。しかし、話には入っていないと認識しております。

地区：学校新道については、あくまでも六差路が改善されてだと町から話を受けています。なので、学校新道の改善をしてほしい思いはありますが、それよりも前に六差路を解決しないと対応できないと以前から町より話を受けています。

町（町長）：私は、六差路の課題よりも学校新道をどう改善するかのほうが重要だと思っています。なので、今言ったような話は一切申し上げておりません。学校新道をどうするかという課題から入っていただきたいです。

地区：1、2町内の認識としては、六差路を改修してからだとなっています。

町（町長）：六差路と学校新道と一緒に解決しなければならない課題です。しかし、いただいている話の中には学校新道の部分について触れられていません。あくまで、学校新道をどうするかという話の中に六差路の話を組み込むということでもあります。

地区：地区としてはそのような要望を出していますが、区長から話があったのは、あくまでも六差路の課題をどうするかということでした。六差路の改修がすすめば、学校新道の話も進むでしょうということでした。

区長：6月に町から回答をいただき、六差路解消ということだけでなく、もう少し問題点を探る必要があるのではないかとということでした。交通量や実情等の調査が必要ということでした。

地区：地区では調査ができないので、調査を町でしていただきたいです。

町：調査につきましては、今年度に交通量の調査をしたいと考えております。

Q. 置賜管内で、環境づくりについて毎年しっかり予算をとっていただいて活動できていることに感謝したい。今後も引き続きお願いしたい。第6次総合計画にもぜひ、環境づくりについては大きく組み込んでいただきたいと思えます。

A. ごみを下流に流さないことにしっかりと取り組みたいと思えます。氾濫を防ぐために

は側溝のゴミ等を地域の皆様に協力をいただきながら対応していかなければならないと思います。予算は今後もしっかりと確保しますので、ご協力をお願いします。